

- 柳沢公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
- 田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

- 谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- 保谷駅前公民館 東町3-14-30 TEL 421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

3.11 あの日のあの時

3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生。市内6館の公民館が帰宅困難者の受け入れを実施しました。その中で柳沢公民館、田無公民館、保谷駅前公民館が帰宅困難者の避難所となりました。その日の保谷駅前公民館の様子と、地震を体験した市民の声を特集します。

保谷駅前公民館は人であふれて

午後4時

地震の影響で、西武線は全線がストップ。保谷駅構内は2階改札口から1階の通路まで、帰宅できない人で溢れかえっています。そんな中、公民館職員が「保谷駅前公民館が災害時避難所になっています。どうぞこちらです」と、拡声器で呼びかけ、案内ポスターも貼り出しました。夕暮れが近づき、不安と苛立ちの表情を浮かべていた人が、



最初の揺れがおさまった後、外に出ると、近所の方も外に出ていました。会話を交わしていると2度目の大きな揺れ。皆で道路上でかたまっていました。一人では不安で、改めて近所づきあいの大切さを感じましたね。

公民館職員に誘導され、5階にある公民館まで避難をしてきました。最初に子供連れが10組、次にお年を召した人や仕事帰りの人が続々と集まり、やがて全ての部屋がいっぱい。

職員は急ぎょ廊下にマットを敷き、部屋に入りきれない人たちをご案内しました。

館内は地震直後から暖房が切れて寒さが厳しいため、毛布約170枚を配布しました。

午後10時30分

地震発生から9時間近くが過ぎたころ、保谷駅員から「午後10時40分頃所沢方面への電車

がありません」と、案内が入り、公民館に避難していた人の約半数が駅に向かいました。

この後、公民館内に避難している人には備蓄倉庫の非常用ビスケットを配布することもアルファ米の炊き出しを行いました。

深夜0時を過ぎて

日付が替わり12日。職員は宿泊の準備に取りかかりました。男性用と女性用の部屋を準備し、毛布を2枚ずつ配布。そのうち男性の部屋からは、かすかな寝息が聞こえてきました。

田無公民館の1階にいた私は、ものすごい揺れに外に飛び出しました。電線は縄跳びの縄のように振れ、車は路上に停車し、歩いていたら車は道路にへたり込んでいました。駐輪中の自転車はほとんどすべてが将棋倒しのように倒れ、きらりと側の排水溝からは大量の水が周辺に溢れ出ていました。今までに経験したことのない恐ろしい地震でした。



このたびの震災で被災された皆様、大切な方を亡くされた方々に心からお見舞いとお悔やみを申し上げます

電車が止まって、帰れないときからめかけた時、公民館で待機していただけたますよと職員の方に声をかけられました。保谷駅の構内は寒かったから、本当に助かったんですよ。すごいこの渦中に自分もいるんだって思っちゃいました。まさか自分が帰宅困難者になるなんて...



外出中に電車内で被災してそのままカバン。子どもだけで留守番させていたので心配で。自宅と電話が通じなくて途方にくれたのですが、同じマンションに住む友人が気づいて我が家の様子を見に行き、子どもたちを預かってくれました。私は歩いて深夜に帰宅。本当に助かりました。



11日に帰宅できず、一晩お世話になりました。突然の地震により途方にたてられておりました。自分が置かれている状況をよく理解できず、帰宅できなくなると正確にわかったときは、すでに日が暮れていました。



保谷駅前公民館のご案内をいただき、館内で手厚く対応していただきましたことに心よりお礼申し上げます。

私はファミリーレストランにいましたが、居合わせた女子学生が恐怖で騒いでいましたよ。



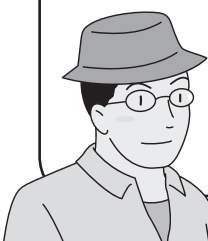
地震の時は自宅にいて陶芸サークルで作った作品が棚から落ちそうなのを懸命に支えていました。



地震の翌朝に柳沢公民館に行くこと徹夜明けの職員が迎えてくれました。公民館には職員だけでなく、防災時にサポートするボランティア組織のようなものが、必要だと実感。部屋を利用する立場だけでなく、支える立場として、利用者懇談会の中でそんな話題も提案したいです。



緊急時に、私たちの身近な公共施設が地域住民の避難所として開放されるのは心強い限りであり、ありがたいことです。



*西東京市の公民館は、災害時の避難所に指定されています。一度みなさんの身近にある公民館までの道のりを確認してみてくださいいかがでしょうか。